

# ひびき



7月の風物詩ですね☆

## 事業継続計画（BCP）



七夕飾り作成中

響会広報誌

### 第70号

令和3年7月  
(年4回発行)

事務長 若田部 康之

新型コロナウイルス感染症の予防・蔓延防止については、面会制限等、ご不自由をお掛けしておりますが、ご理解、ご協力を頂き心より感謝申し上げます。

また、ワクチン接種も開始され、法人・施設でも接種が進んでおりますが、接種後も感染がなくなるわけではありません。今後も感染予防に努め、クラスターにならないために、様々な対策が継続されます。皆様におかれましては、引き続きご理解、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

さて、東日本大震災以降、風水害を含め、全国で自然災害が発生し、甚大な被害をもたらしています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大は、人々の生活に大きな影響を与え、会社組織においても事業存続にまで影響を及ぼしています。これらの背景から、災害対策は従来の地震等を中心としたものに、水害対策、感染症対策を加え、備えることが求められています。響会でも自然災害発生時及び感染症発生時における事業継続計画（BCP）を再検討のうえ再設置をいたしました。大田区と協定をしている福祉避難所の開設についても計画に盛り込み、非常時に速やかな対応が取れるよう準備をしています。

コロナ禍でまだ不自由もありますが、何時如何なる時も「安心と暖かさ」の提供が継続できるよう、職員一同、取り組んでまいります。今後も皆様のご指導、ご鞭撻を頂きますようお願い申し上げます。

令和三年 七月

## 活動に協力しています



**エコマーク事業に協力**  
エコマーク商品であるキングジムの『テプラ』PRO テープカートリッジの使用済カートリッジ回収BOXを玄関ホールに設置しています



### 地域貢献活動

小学校のPTA活動に協力しています  
(玄関ホールに回収BOX設置)

## 高齢者の脱水について

高齢者は脱水状態に陥りやすい傾向にあります。  
暑くなってきていますので、日々の予防と早期発見が大切です！

### 高齢者が脱水に陥りやすい要因

- 熱、汗、嘔吐、下痢などによる水分喪失の機会が増える
- 腎機能の低下によりトイレに行く回数が増える
- 服薬の影響 など

- 加齢に伴い体内の水分や水分を蓄える筋肉、代謝水が減る
- 喉の渇きを感じにくくなったり、誤嚥を避け水分の摂取量が減る
- 食事の量が減る など



### こんな時は要注意！

皮膚や唇・口内の乾燥、微熱がある場合

水分の摂取量が少なく、体内の水分が不足している可能性があります。

汗をたくさんかいたり、下痢・嘔吐が続いた場合

水分と一緒に電解質、特に塩分も多く失われます。両方補給できるスポーツドリンクなども摂取しましょう

### 脱水予防のポイント

『食事(間食含む)+飲み物』で、一日に最低でも1リットルの摂取が必要ですが、一度に大量の水分を取ると心臓や腎臓に負担をかける可能性があります。水分補給は回数を分けて、少しずつ摂取していきましょう！  
冬場でも、暖房による乾燥や無意識に蒸発する水分などで、脱水に陥る可能性があります。こまめな水分補給を忘れずに！



参考資料：  
はつらつ食品カタログ  
『高齢者の脱水』コラム  
(株)ヘルシーネットワーク

## のお知らせ

### 【ひびき利用者様あんしんメール】について

当法人では、今回の新型コロナウイルス感染症の情報伝達や自然災害時の連絡手段として、職員一同が登録しています。

先日、特養入居者様のご家族様へ、迅速に情報共有できる手段として【ひびき利用者様あんしんメール】の設置について、お知らせをさせて頂きました。

今後は、特養の他、各サービス部門での活用を予定しています。



### よろしくお願いします

※特養入居者様のご家族様へ  
【ひびき利用者様あんしんメール】につきまして、  
同封いたしました別紙をご参照頂き、  
ご登録をお願いいたします。

## 感染症への取り組み

### PCR検査

東京都の要請により、好日苑拠点の職員は週1回のPCR検査を実施しています。

定期的な検査実施により早期発見に努め、集団感染を防ぎ、医療提供体制の負荷を軽減することを目的としています。



### ワクチン予防接種

新型コロナウイルスワクチン予防接種(任意)は、殆どのご入居様と特養職員が2回目の接種を終えています。



## 第24回好日苑まつり開催についてのお知らせ

例年8月に開催しております地域交流まつりとしての『好日苑まつり』は、新型コロナウイルスの状況を鑑み、今年も中止することと致しました。毎年、開催にご協力をいただいています皆様、開催を楽しみになさっている皆様には、大変申し訳ございませんがご理解賜りますようお願い申し上げます。

特別養護老人ホームでは8月29日(日)に入居者の方へお祭り行事を予定しております

デイサービスでは8月中の1週間で【まつりWEEK】とさせていただきます。利用される方への行事を予定しております

### ありがとうございました

くどうちあきクリニックより  
手作りのマスクをご寄付いただきました



## BS(ベーシックスキル)研修

新人職員対象の  
基礎研修です



## チューターBS(ベーシックスキル)研修

指導する機会が  
多い中堅職員  
対象の、知識・  
技術を習得する  
ための研修です



## 特別養護老人ホーム 好日苑

(彩活動クラブより)

今回は施設内で  
行われている  
職員勉強会の  
一部をご紹介します

## 避難訓練

災害時にご自身で動けない方を想定した  
避難訓練を定期的に行っています



## ノーリフティングタスクフォース委員会

外部から講師を招き安楽な  
姿勢について学びました



デモ機をみんなで体験しました



## おやつイベント



好日苑

デイサービスセンター  
(毎日の申し送りの様子)



今回のイベント食は  
初めての試み!  
【蒸し野菜】です



## 工作の時間



## イベント食



## ゲーム



今回は調布地区をご紹介させていただきます

嶺町 / シニアステーション東嶺町

# 大田区地域包括

# 支援センター

- ・六郷
- ・西六郷
- ・上池台
- ・嶺町 / シニアステーション東嶺町
- ・馬込 / シニアステーション馬込
- ・南馬込 / シニアステーション南馬込



みねまちだより

地域へ発信！包括支援センター広報誌



## つながる おかげさまで



## 人と地域と... 開設6年目

コロナ禍でもできる事を見つけながら...

## シニアステーション 東嶺町

シニアステーションは地域包括支援センターと連携、高齢者の元気維持、介護予防から最適な介護サービスへの切れ目ない支援を提供します。

介護・生活相談



地域の専門家を招いての地域講座

元気・健康維持



介護予防・フレイル予防

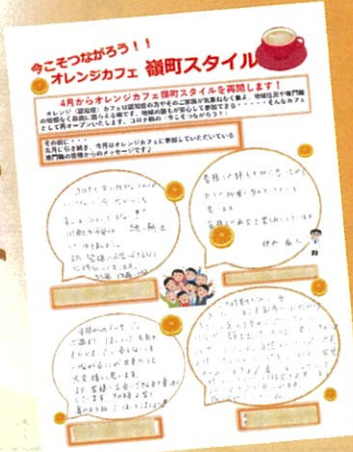
多世代交流



昨年度は、園児さんをお招きしての交流会ができず残念でしたがシニアステーションからの手作りのささやかな贈り物に近隣保育園より大きなあたたかいメッセージが届きました。皆で励まされ、気持ちが通じる、つながるしあわせを感じました。

## 地域包括支援センター 嶺町

オレンジカフェ 嶺町スタイル  
コロナ禍で離れていてもつながろう  
認知症サポーター医を囲んでの懇談会





## 特養って楽しい!!

特別養護老人ホーム好日苑 看護師 船山 美那子  
(2020年8月 非常勤入職)

### きっかけは母

自分では覚えていませんが、子どもの頃の卒園アルバムには「なりたい職業→看護師」と、書いてあります。母が看護師として働いていたので、看護師になることが普通のことだったと思います。いざ、進路を決める時には、保健室の先生と迷いましたが、幼い頃からなりたいと思っていた看護師の道に進みました。

### 看護学校卒業後

病院に就職し消化器科で働きましたが、不規則勤務(夜勤)や残業に身体はヘトヘト。看護ではなく業務がメインの仕事に疲れもたまり、3年勤めて退職をしました。

退職後も正職員での就職を探していましたが。面接は受けるのですが、自分が就職する気持ちに繋がらないこともあり、なかなか就職先を決められずにいました。知人から「正社員にこだわらない働き方もあるよ」と、言われたことで、そこから正職員にはこだわらなくなり、アルバイトや非常勤などで働いていました。

### おばあちゃんこの私

今は好日苑で正職員(常勤)として働いていますが、初めは非常勤で就職しました。高齢者施設を選んだ理由はおばあちゃんこだわったからです。特養(特別養護老人ホームの略)看護師として、利用者様の暮らしの中で働くのは、今までの病院での看護とは少し違いますが、利用者様と関わる時間は楽しく、好日苑での毎日はとても楽しいです。特養での一日の流れは利用者様のペースに合わせて私達が動いていくのですが、ここも病院とは異なります。好日苑での看護業務はフロア固定ではない為、その日その日で仕事が変わりますが、その方の生活リズムや性格などがわかるようになるとスムーズに動けます。

忙しい時もありますが、利用者様の生活に合わせていくことで、とてもゆったりと感じます。この点も病院での慌ただしさとは違うと思いました。

### 特養では

生活する上で医療的なケアを必要とされる利用者様もいます。病院ではない為、施設には医師が在勤していません。急な体調不良などには、定期的に来て頂いている往診医と連絡を取り、指示を頂くようになりますが、基本的には介護士さんからの相談は、私達看護師が行い、判断をすることが殆どです。まだまだ知識や経験も乏しい私が、そんな判断なんて…と、とてもプレッシャーに感じますが、周りの先輩看護師の方々が、相談しやすい環境を作ってくださっていて、相談すると悩みも吹き飛び安心できます。特養は本当に様々な人達と関わりますが、良い関係を築くことができていると思っています。

### これからの私

特養の看護師って、『病院で働いていた熟年の看護師』というイメージを、割と多くの方が持たれているようです。私の家族や友人からは「若いんだから、もっと別の場所で働いたら?」とか「病院で働いて、もっと経験を積んだらいいのに」と言われたりしますが、先にも話しましたが、特養で働くことがとても楽しいので、他で働くことなんて考えていません!また、特養で働き始めてから、自分なりに”オン・オフ”をしっかりと切り替えることができるようになりました。まさに、ワーク・ライフバランスです!(笑)

とは言いましても、まだまだ未熟者の私です。どうなりたいということよりも、特養看護師を通して、たくさんの方の事を学んでいきたいです。

#### 表紙のことば

工作がお上手な方達です。いつもありがとうございます。

#### ご寄付をいただきました

ありがとうございました

(令和3年5月1日~令和3年6月末日迄)

瀬川 信幸

お受付分敬称略  
厚く御礼申し上げます

#### 心の小箱

をご活用下さい

(玄関ホール)

ご意見・ご要望・お気づきの点などお気軽にお寄せ下さい

